

新人紹介

2017年3月入社 of Kくんは、10人兄弟の6番目です。高校卒業後は出身高校の先生の勧めで、東光電機工業株式会社に入社しました。仕事を始めてから1年半が過ぎ、少し仕事に慣れてきたKくん。最近では「仕事に対する責任感が出てきた」と話します。

入社したきっかけはなんですか？

「きっかけは、高校3年生のときの担任が社長と知り合いで、先生からの勧めもあり、社長と面談の機会を作っていただいたことです。」

もともと、高校で電気関係の勉強をしていたのですか？

「いいえ、全く違った勉強です。地元の高校では情報コミュニケーション科というところで、簿記の勉強をしていました。」

電気関係ではないのですね。では、仕事をしていて大変なことがたくさんあるのではないですか？

「大変というか、ミスをしてしまうことはあります。例えば、倉庫の出荷商品は届け先ごとに分けておくことが必要です。でも、商品を別の場所に保管していて、いざ出荷するときその商品がないということも…。最近では伝票を一枚ずつ確認しながら出荷商品ごとに仕分けをしているので、ミスが少なくなりました。」

辛いこととかはないですか？

「やはり、人間関係です。歳の近い方が周囲にいなかったもので、気軽に相談できる雰囲気ではありませんでした。でも、自分の物事の捉え方を変えて、思い切って上司の方に、仕事のやり方がわからず戸惑っていると相談したんです。そうしたら親身になって話を聞いてもらえて、自分の周りの環境が良くなりました。」

そのことがきっかけで、どんな変化がありましたか？

「一番大きな変化は、社長との読書会です。3ヶ月に1度の間隔で、僕と歳の近いメンバー3人と一緒に行っています。」

面白い試みですね。具体的にどのようなことをしているのですか？

「読書会は、毎回メンバー各々が指定された1冊の本を読み、印象に残った箇所についてそれぞれどのような感想を持ったのか、自分の意見を自由に発言しています。これがきっかけで、社長やメンバーの考えがよくわかり、お互いの距離が近く感じるようになりました。」

いいですね。最後に、仕事に対する今の気持ちをお聞かせください。

「きっかけは高校の先生の勧めで始めた仕事でした。でも、続けていくうちに仕事の面白さを感じ始めています。これからは、高校で学んだ簿記の知識を活かして、在庫管理の仕事と連動させながら少しずつ自分らしい仕事の仕方をしていきたいです。」

